

クロマツ林の景観改善を進めています

沼津御用邸記念公園の大部分は、御用邸当時からの近郊海浜保養地としての景観を伝えるものと評価され、平成28(2016)年に「旧沼津御用邸苑地」として国の名勝(文化財)に指定されました。

本苑地では、シンボルであるクロマツ林の景観を改善するため、枯木や過密箇所の伐採作業を、令和2(2020)年度から進めています。苑地が広大なため、令和9(2027)年度頃の完了を見込んでいます。



現在の様子と目印の説明

- ・本苑地は自然林ではなく、御用邸当時のクロマツ林と芝生地を代表とする庭園に由来するものです
- ・現在は、自然に種から育った実生(みしょう)が過密化し、景観が阻害されてしまっているため、適宜伐採する必要があります
- ・幹に巻いてあるビニールテープは伐採候補の目印です
- ・今後庭園や景観の専門家の実地指導を受け、伐採対象を決定します
- ・クロマツは成長に日当たりを必要とする樹種のため、過密化した場所の実生樹は、良好に成長することはできず、枯損してしまいます



大正11(1922)年 御用邸当時の様子(宮内庁宮内公文書館所蔵)